I·O DATA

USB2-iCN2

取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

117123-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
8) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
9) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
10) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
13) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
14) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i・CONNECTおよびi・CONNECTのロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,PowerBook,Mac,Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- iMacは、米国Apple Computer,Inc.の商標です。
- VAIOは、ソニー株式会社の商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因となります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となります。

厳守

本製品の取り付け、取り外しの際は、必ず本書で、取り付け取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

濡れた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

⚠ 注意

本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品内部で結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本製品に接続したドライブにアクセス中は、省電力モードにしないでください。

本製品にアクセスしている最中は、スタンバイ/休止/スリープなどの省電力モードにしないでください。

●他のUSB機器を使う場合は、下記に注意してください。

・本製品の転送速度が遅くなることがあります

・本製品をUSBハブに接続しても使えないことがあります

その場合は、パソコンのUSBポートに接続してください。

・本製品をUSB 1.1ハブに接続するとUSB 1.1機器として動作します

USB 2.0機器として動作させたい場合は、USB 2.0ハブを使うか、パソコンのUSB 2.0ポートに接続してください。

●本製品に接続したドライブからOSは起動できません。

本製品に接続したドライブからのOS起動はサポートされておりません。

●ハードディスクは、Mac OSとWindowsで併用はできません。

フォーマット形式の違いにより、併用することはできません。

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
お使いの前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	USB2-iCN2
ドライブ	i-CONNECT搭載ドライブ
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System, Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating Systemの総称
Windows Me/98	Windows Me,Windows 98の総称
Windows	Windows Me/98,Windows XP,Windows 2000の総称
Mac OS 9	Mac OS 9, 9.0.4, 9.1, 9.2, 9.2.2の総称
Mac OS X	Mac OS X 10.0.3, 10.0.4, 10.0.5, 10.1～10.1.5
Mac OS	Mac OS 9,Mac OS Xの総称

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください i
お読みになる前に vi
もくじ vii

はじめに 1

箱の中には 2
動作環境 3
各部の名前 6
お使いのOSは？ 7

Windows XPでお使いの場合 9

使えるようにしよう 10
確認しよう 12
基本操作について 14

Windows 2000でお使いの場合 17

使えるようにしよう 18
確認しよう 20
基本操作について 22

Windows Me/98でお使いの場合 25

使えるようにしよう 26
確認しよう 29
基本操作について 31

Mac OS 9でお使いの場合 35

使えるようにしよう 36
確認しよう 38
基本操作について 39

Mac OS Xでお使いの場合 41

使えるようにしよう 42
確認しよう 44
基本操作について 45

付録 47

困った時には 48
サポートソフトの削除 54
Mac OS 9でのハードディスクの初期化 56
用語解説 57
ハードウェア仕様 58

お問い合わせ 59
修理について 60

はじめに

箱の中には ・・・・・・・・・・・・・・・・・2

箱の中のものを確認します。

動作環境 ・・・・・・・・・・・・・・・・・3

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・6

コネクタなどの名前と機能を説明します。

お使いのOSは？ ・・・・・・・・・・・・・・・・・7

お使いのOSに合ったページを案内しています。

箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

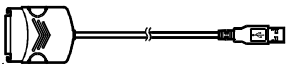
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

☐ **USB2-iCN2(１本)** [1m]



☐ **USB 2.0 CC2 サポートソフト(１枚)**

[3.5インチ2HD（1.44M/バイト）]

☑ **USB2-iCN2取扱説明書(本書：１冊)**

☐ **ハードウェア保証書(１枚)**

参考

ユーザー登録は済ませましたか？

ご登録いただきました情報は、今後の製品創りに生かしてまいります。
また、弊社よりお客様へ連絡を差し上げる際にも利用させていただきます。
ぜひご登録ください。
(e-mailアドレスを登録したご希望の方へは、新製品・サポート情報満載の e-mail I-O NewsLetterを定期的にお届けします。)

登録アドレスはこちらから

http://www.iodata.jp/regist/

動作環境

本製品を使うことのできるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと

・本製品を使用したい機種・OSに、本製品に接続するドライブ自体も対応していること。（本製品およびドライブの両方が対応している機種・OSである必要があります。）

・パソコンに本製品を接続できるUSBポートがあること。

※USB 2.0機器としての動作には、USB 2.0環境が必要です。弊社では、弊社製USB 2.0インターフェイスにて確認しております。動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせください。

※USB 1.1環境では、USB 1.1機器として動作します。

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
NEC PC98-NXシリーズ, DOS/Vマシン※1※2※3※4※5	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE Windows 98※6

※1　弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。

※2　次の機種(2002年8月末現在)では、CD-RW/DVDドライブに接続する場合のみ対応外となります。
IBM製 APTIVA E17,E21,E27,E31,E47シリーズ

※3　次の機種(2002年8月末現在)では、本製品を本体標準搭載USBポートで使えません。
東芝製 DynaBook SS PORTEGE 6000、DynaBook Satellite 2520シリーズ
SOTEC製 e-note M260 TX2,TX3

※4　COMPAQ製 PRESARIO 3566,3567,3576,3581,3590では、パソコンのBIOSアップデートが必要です。
詳しくは、コンパック プレサリオ サポートセンターにお問い合わせください。

※5　USBのハードディスクから起動することができる一部機種で、制限があります。
詳しくは、「本製品を接続した状態でパソコンを…」（51ページ）をご覧ください。

※6　CD-RW/DVDドライブに接続する場合、下記のどちらかの作業をしてください。
・Windows UpdateでWindows 98 System Updateをする
・Service Pack 1でアップデートをする

対応機種	対応OS（日本語版のみ）
Apple iMac(iMac DVを含む), iBook PowerMac G4 Cube, PowerMac G4, PowerMacintosh G3 (Blue & White), PowerBook G4, PowerBook G3(Bronze keyboard)	Mac OS※7 9, 9.0.4, 9.1, 9.2 9.2.2, X※8

※7　USB 1.1のみの対応となります。

※8　バージョン 10.0.3以降のみ対応です。
アップデートについては、アップルコンピューター株式会社のホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧ください。

Mac OS Xのアップデート

環境によっては、先に「SoftWare Update 1.3.1」が必要となります。
詳しくは、アップルコンピューター株式会社のホームページのアップデートに関するページをご覧ください。

対応i･CONNECT搭載ドライブ

対応i･CONNECT搭載ドライブは常に更新されています

最新情報は下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
　http://www.iodata.jp/products/iconnect/sheet.htm

・弊社カタログ

i･CONNECT搭載ドライブは、カタログ・パッケージの「i･CONNECTマーク」が目印です。

●ハードディスク

・最新情報は上記を参照してください。

●MOドライブ

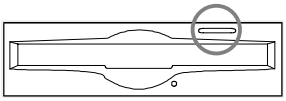
※ファームウェアアップデートプログラムはMac OSではお使いいただけません。

・一部のMOドライブはファームウェアのアップデートが必要です。
アップデートについては、弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）から「サポートライブラリ」をご覧ください。

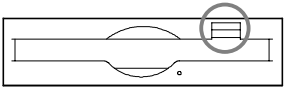
ファームのアップデートが必要なMOドライブ

イジェクトボタンの形で判別できます。

アップデートが必要なタイプ



アップデートが不要なタイプ



●CD-RW/DVDドライブ

※CD-RW/DVDドライブはMac OSではお使いいただけません。

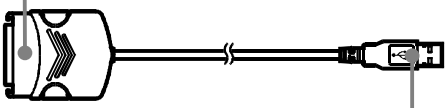
・ライティングソフトとして「B's Recorder GOLD」が添付されていた場合は、Ver3.29以降にアップデートすることをおすすめします。
「B's Recorder GOLD5」が添付されていた場合は、Ver5.05以降にアップデートすることをおすすめします。
アップデートについては、株式会社ビー・エイチ・エーのホームページ（http://www.bha.co.jp/）をご覧ください。

各部の名前

各部の名称および機能の確認をします。

i･CONNECT対応コネクタ

ドライブのi･CONNECTと接続します。



USBコネクタ（Aタイプ）

USBポートに接続します。

お使いのOSは？

ここでは、お使いのOSに合ったページを案内しています。
下の表をご覧になり、それぞれのページへお進みください。

お使いのOS	章	
Windows XP	【Windows XPでお使いの場合】	9ページ
Windows 2000	【Windows 2000でお使いの場合】	17ページ
Windows Me/98	【Windows Me/98でお使いの場合】	25ページ
Mac OS 9	【Mac OS 9でお使いの場合】	35ページ
Mac OS X	【Mac OS Xでお使いの場合】	41ページ

Memo

Windows XPでお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・１０

本製品を使えるようにします。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・１２

本製品を使えることを確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・１４

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。
まずは、ドライブを使えるようにしてください。
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
　http://www.iodata.jp/products/iconnect/sheet.htm
・弊社カタログ

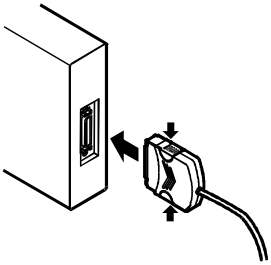
1 コンピュータの管理者アカウントでログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows XPにコンピュータの管理者アカウントでログオンします。

接続する

2 ドライブに本製品を接続します。

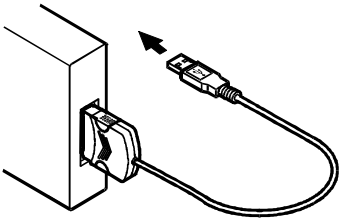
i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



3 ドライブの電源を入れます。

4 本製品をUSBポートに接続します。

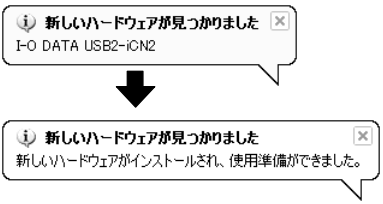
本製品をUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
⇒自動的に本製品が認識されます。



5 右下に「ふきだし」が表示されます。

ふきだしの中の表示が変わっていき、最終的に下のように表示されます。

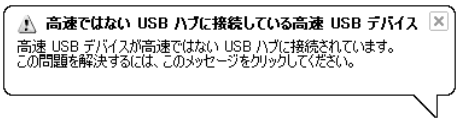
「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」



参考

USB 1.1ポートに接続した場合は

下のような表示が出ます。
USB 2.0ポートをお持ちの場合は、そちらに接続してください。
※ Windows Updateなどにて USB 2.0に対応していない場合は、USB 2.0ポートに接続しても、このふきだしが表示されます。



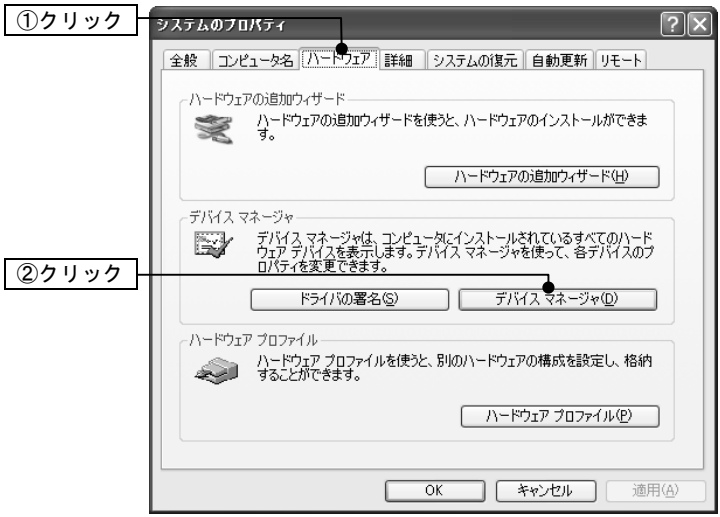
以上で本製品は使えるように設定されました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品を使えることを確認します。

1 ［スタート］をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。

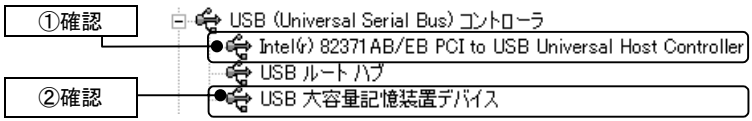
2 [ハードウェア]タブ→［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



3 USB(Universal Serial Bus)コントローラの下を確認します。

①USBコントローラのドライバを確認します。

②［USB大容量記憶装置デバイス］を確認します。



USBコントローラは･･･

環境によって異なります。

通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります

その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

USBコントローラに［!］が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

［USB大容量記憶装置デバイス］に［!］が付いている

【接続する】(10ページ)をご覧になり、接続と電源をご確認ください。

4 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ☒ をクリックします。

5 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いた「マイコンピュータ」にアイコンがあることを確認します。

ドライブのアイコンがない

「接続したドライブのアイコンが表示されない」（49ページ）をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	16ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでもドライブの電源を入れられます。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 ドライブの電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

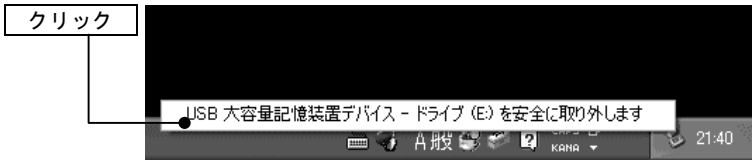
1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

3 表示された［USB大容量記憶装置･･･］をクリックします。

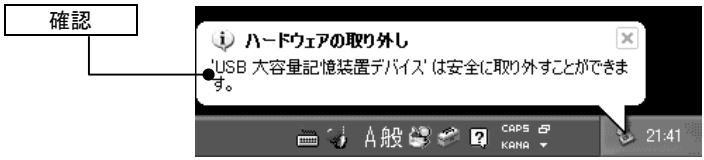
複数のUSB機器を接続している場合は、［USB大容量記憶装置デバイス］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された

①使っているソフトウェアを全て終了します。
②再度、*1*の手順から行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 ［ハードウェアの取り外し］が表示されたことを確認します。



5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 ドライブの電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 ドライブの電源を切ります。

操作は、【ドライブの電源を切る】(14ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

Windows 2000でお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・１８

本製品を使えるようにします。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・２０

本製品を使えることを確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・２２

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。
まずは、ドライブを使えるようにしてください。
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
　http://www.iodata.jp/products/iconnect/sheet.htm
・弊社カタログ

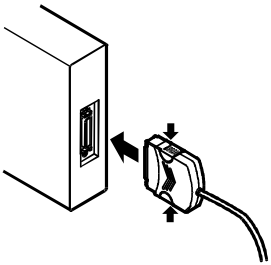
1 Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

パソコンの電源を入れて、Windows 2000にAdministrator権限でログオンします。

接続する

2 ドライブに本製品を接続します。

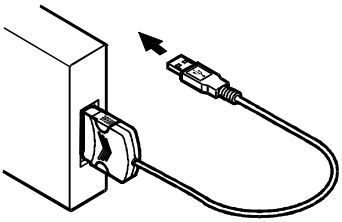
i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



3 ドライブの電源を入れます。

4 本製品をUSBポートに接続します。

本製品をUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で本製品は使えるように設定されました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品を使えることを確認します。

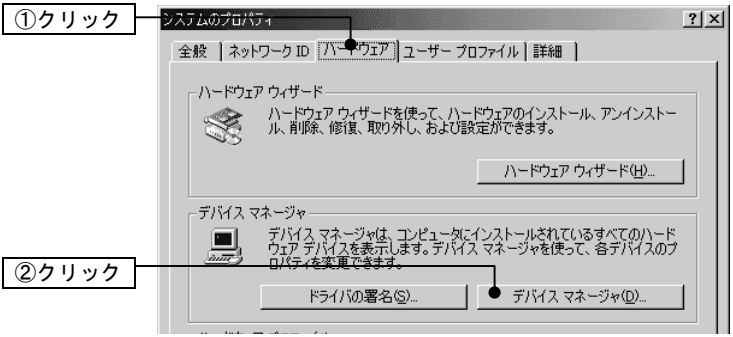
1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

①［ハードウェア］タブをクリックします。

②［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



3 ［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。

4 USB(Universal Serial Bus)コントローラの下を確認します。

①USBコントローラのドライバを確認します。

②［USB 大容量記憶装置デバイス］を確認します。

参考

USBコントローラは･･･

環境によって異なります。

通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります

その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

注意

USBコントローラに［!］が付いている

パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

［USB 大容量記憶装置デバイス］に［!］が付いている

もう一度【使えるようにしよう】(18ページ)の手順を行ってください。

5 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

6 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いた「マイコンピュータ」にアイコンがあることを確認します。

注意

ドライブのアイコンがない

「接続したドライブのアイコンが表示されない」（49ページ）をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	24ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでもドライブの電源を入れられます。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 ドライブの電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

3 表示された［USB大容量記憶装置デバイス］をクリックします。

複数のUSB機器を接続している場合は、［USB大容量記憶装置デバイス］の後に表示されるドライブ文字にて区別します。

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使っているソフトウェアを全て終了します。
②再度、*1*の手順から行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 ドライブの電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 ドライブの電源を切ります。

操作は、【ドライブの電源を切る】(22ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

Windows Me/98でお使いの場合

使えるようにしよう ・・・・・・・・・・・・・・・２６

本製品を使えるようにします。

確認しよう ・・・・・・・・・・・・・・・２９

本製品を使えることを確認します。

基本操作について ・・・・・・・・・・・・・・・３１

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。

まずは、ドライブを使えるようにしてください。

ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i・CONNECT対応表」

http://www.iodata.jp/products/iconnect/sheet.htm

・弊社カタログ

本製品を使えるようにする

まだ本製品を接続しないでください

本製品は本手順内で「接続する」という記載があるまで接続しないでください。（28ページの手順8以降で接続します。）

弊社製USB 2.0機器をすでにお使いの方へ

弊社製USB 2.0機器に添付のCD-ROMに「USB 2.0 CC2 サポートソフト」が入っているかを、CD-ROMのラベルなどでご確認ください。

入っている場合は、バージョンを確認してください。

- **バージョンが本製品のものと同じか、新しい場合**
  手順8にお進みください。
- **バージョンが本製品のものより古い場合**
  今お使いのサポートソフトを削除してから作業をしてください。
- **「USB 2.0 CC2 サポートソフト」が入っていない場合**
  USB 2.0機器のサポートソフトを削除してから作業をしてください。

1 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

2 Windows Me/98を起動します。

パソコンの電源を入れて、Windows Me/98を起動します。

3 「USB 2.0 CC2 サポートソフト」を挿入します。

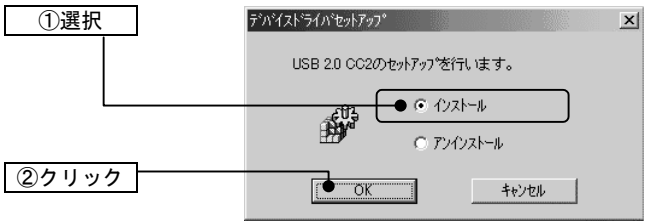
「USB 2.0 CC2 サポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

4 [DDSETUP] アイコンをダブルクリックします。

[マイコンピュータ] →フロッピーディスクドライブアイコン→ [DDSETUP] の順にダブルクリックします。

5 [インストール] を選択します。

[インストール] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
⇒自動でインストールされます。



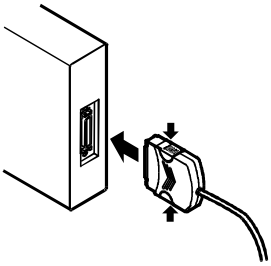
6 [OK] ボタンをクリックします。

7 「USB 2.0 CC2 サポートソフト」を取り出します。

接続する

8 ドライブに本製品を接続します。

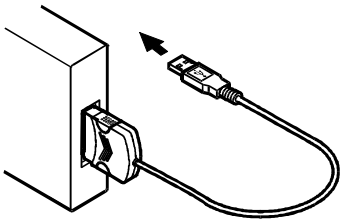
i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



9 ドライブの電源を入れます。

10 本製品をUSBポートに接続します。

本製品をUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。
次は、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品を使えることを確認します。

USB 2.0インターフェイスに接続する場合
各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせの上、USB 2.0インターフェイスが正常に動作しているかどうかをご確認ください。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

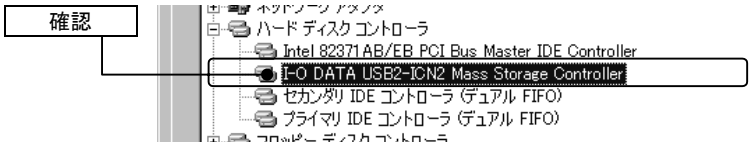
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

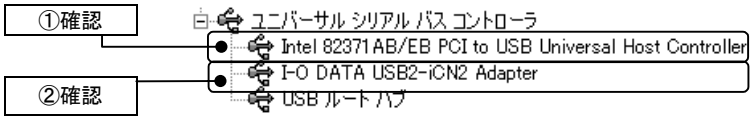
4 ハードディスクコントローラ下の本製品の名前を確認します。

①［ハードディスクコントローラ］をダブルクリックします。
②［I-O DATA USB2-iCN2 Mass Storage Controller］を確認します。



5 USBコントローラと本製品の名前を確認します。

①［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。
②その下にあるUSBコントローラを確認します。
③［I-O DATA USB2-iCN2 Adapter］を確認します。



USBコントローラに［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

［I-O DATA USB2-iCN2 Adapter］に［!］が付いている
【サポートソフトの削除】(54ページ)の手順を行った後、もう一度【使えるようにしよう】(26ページ)の手順を行ってください。

USBコントローラは･･･
環境によって異なります。
通常、「～USB～Controller」という名前になっています。

USBコントローラが２つ以上ある場合があります
その場合は、全てのUSBコントローラを確認してください。

6 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

7 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックし、開いた「マイコンピュータ」にアイコンがあることを確認します。

ドライブのアイコンがない
「接続したドライブのアイコンが表示されない」（49ページ）をご覧ください。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

操作	
ドライブの電源を入れる	本ページ
ドライブの電源を切る	
本製品を接続する	33ページ
本製品を取り外す	

ドライブの電源を入れる

パソコンの電源や本製品が接続されているかどうかに関係なく、いつでもドライブの電源を入れられます。

ドライブの電源を切る

操作	
●パソコン→ドライブの順に電源を切る	本ページ
●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る	次ページ

●パソコン→ドライブの順に電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 Windowsを終了し、パソコンの電源を切ります。

3 ドライブの電源を切ります。

●パソコンの電源を切らずにドライブの電源を切る

1 ディスクを取り出します。

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。

3 表示された［… の取り外し］をクリックします。

複数のUSB機器を接続している場合は、［·····の取り外し］の後に
表示されるドライブ文字にて区別します。

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された
①使っているソフトウェアを全て終了します。
②再度、*1*の手順から行います。
※同じメッセージが表示されたら、【●パソコン→ドライブの順に電源を切る】(前ページ)の手順を行ってください。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

5 ドライブの電源を切ります。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 ドライブの電源を入れます。

2 本製品をUSBポートに接続します。

本製品を取り外す

1 ドライブの電源を切ります。

操作は、【ドライブの電源を切る】(31ページ)をご覧ください。

2 本製品をUSBポートから取り外します。

Memo

Mac OS 9でお使いの場合

Mac OS 9でお使いの場合は･･･

本製品はUSB 1.1機器として認識されます。

ハードディスクをお使いの場合は･･･

初期化方法が他のi･CONNECT対応オプションと異なります。
使えるようにしたあとで、本製品に接続したハードディスクを初期化したくなった場合は、【Mac OS 9でのハードディスクの初期化】(56ページ)をご覧ください。

使えるようにしよう ･･･････････････ 36

本製品を使えるようにします。

確認しよう ･･･････････････ 38

本製品を使えることを確認します。

基本操作について ･･･････････････ 39

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

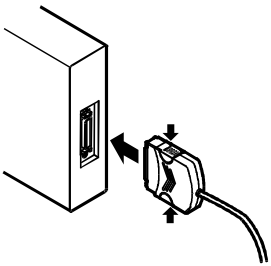
本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。
まずは、ドライブを使えるようにしてください。
ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。
また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

- 弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」
  http://www.iodata.jp/products/iconnect/sheet.htm
- 弊社カタログ

接続する

1 ドライブに本製品を接続します。

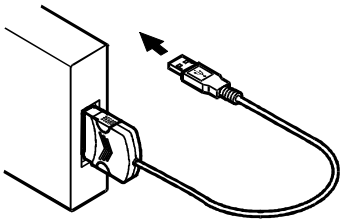
i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



2 ドライブの電源を入れます。

3 本製品をUSBポートに接続します。

本製品をUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。
次に、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品を使えることを確認します。

1 「Apple システム・プロフィール」を開きます。

メニューの中の［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

2 ［I-O DATA USB2-iCN2］を確認します。

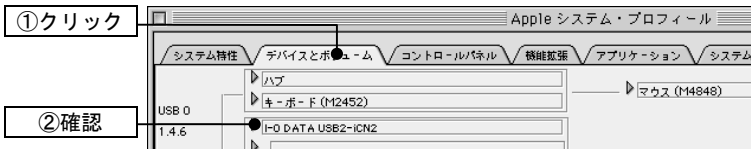
①［デバイス(装置)とボリューム］タブをクリックします。

②［USB x］の中に［I-O DATA USB2-iCN2］があることを確認します。

［I-O DATA USB2-iCN2］がない

【接続する】(36ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

Mac OS 9.1の例



3 CD-RW, DVD, MOドライブの場合は、ディスクを挿入します。

方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

4 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

デスクトップ上にアイコンがあることを確認します。

以上で、確認は終了です。本製品をお使いいただけます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 **ドライブの電源を入れます。**

2 **本製品をUSBポートに接続します。**

本製品を取り外す

●パソコンの電源を切って取り外す

1 **ディスクを取り出します。**
CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 **Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。**

3 **本製品をUSBポートから取り外します。**

4 **ドライブの電源を切ります。**

●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 **ディスクを取り出します。**
CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 **本製品をUSBポートから取り外します。**

3 **ドライブの電源を切ります。**

Memo

Mac OS Xでお使いの場合

Mac OS Xでお使いの場合は･･･
本製品はUSB 1.1機器として認識されます。

使えるようにしよう ･･･････････････42

本製品を使えるようにします。

確認しよう ･･･････････････44

本製品を使えることを確認します。

基本操作について ･･･････････････45

本製品を使う上での操作について説明します。

使えるようにしよう

はじめて本製品を接続する際の手順について説明します。

接続するドライブが使われていることが前提です

本書は、現在使われているドライブのケーブルを本製品に交換するように書かれています。

まずは、ドライブを使えるようにしてください。

ドライブを使えるようにする方法については、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

また、ドライブの最新対応情報については、下の方法にてご確認ください。

・弊社Webページにある「i･CONNECT対応表」

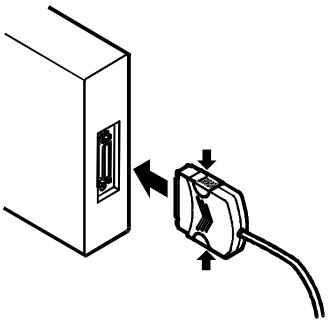
http://www.iodata.jp/products/iconnect/sheet.htm

・弊社カタログ

接続する

1 ドライブに本製品を接続します。

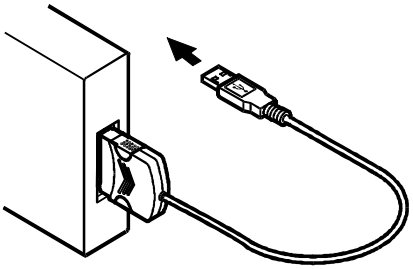
i･CONNECT対応コネクタの両脇を押さえながら、ドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことを確認します。



2 ドライブの電源を入れます。

3 本製品をUSBポートに接続します。

本製品をUSBポートにまっすぐに接続します。
USBポートの場所については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。



以上で、本製品は使えるようになりました。
次に、本製品が使えるか確認しましょう。

確認しよう

本製品を使えることを確認します。

1 [Applications] を開きます。

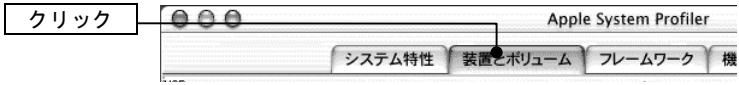
［移動］メニューの中の［アプリケーション］をクリックします。

2 [Apple System Profiler] を起動します。

［Utilities］フォルダー→［Apple System Profiler］の順にダブルクリックします。

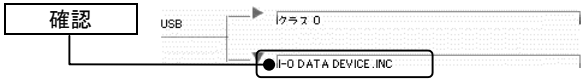
順にダブルクリック

3 [装置とボリューム] タブをクリックします。



4 [I-O DATA DEVICE , INC] を確認します。

［USB］の横に［I-O DATA DEVICE , INC］があることを確認します。



［I-O DATA DEVICE , INC］がない

【接続する】(42ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

5 CD-RW, DVD, MOドライブの場合は、ディスクを挿入します。

6 ドライブのアイコンが表示されていることを確認します。

デスクトップ上にアイコンがあることを確認します。

アイコンがない

【接続する】(42ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。
また、接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

以上で、確認は終了です。本製品をお使いいただけます。

基本操作について

本製品を使う上での操作について説明します。

本製品を接続する

パソコンの電源を入れていても切っていても、本製品を接続できます。

1 **ドライブの電源を入れます。**

2 **本製品をUSBポートに接続します。**

本製品を取り外す

●パソコンの電源を切って取り外す

1 **ディスクを取り出します。**

CD-RW, DVD, MOドライブの場合、中のディスクを取り出します。
詳しくは、ドライブの取扱説明書をご覧ください。

2 **Mac OSを終了し、パソコンの電源を切ります。**

3 **本製品をUSBポートから取り外します。**

4 **ドライブの電源を切ります。**

●パソコンの電源を切らずに取り外す

1 本製品内のボリュームをゴミ箱に捨てます。

ボリュームをゴミ箱の上に持っていき、放します。

※ボリュームを上に持っていくと、ゴミ箱のアイコンが変わります。

⇒本製品内にある全てのボリュームの表示が消えます。

ドライブによっては、中のディスクが取り出されます。

ボリュームを捨てる　ーハードディスクの場合ー

2 本製品をUSBポートから取り外します。

3 ドライブの電源を切ります。

付録

困った時には ・・・・・・・・・・・・・・・ 48

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

サポートソフトの削除 ・・・・・・・・・・・・・・・ 54

サポートソフトの削除方法を説明します。

Mac OS 9でのハードディスクの初期化 ・・・・・・・・・・・・・・・ 56

本製品に接続したハードディスクをMac OS 9で初期化する方法を説明します。

用語解説 ・・・・・・・・・・・・・・・ 57

本書内の用語を説明します。

ハードウェア仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・ 58

本製品の仕様を説明します。

困った時には

本製品を使っていて、異常があったときにご覧ください。

共通のトラブル

本製品に接続したドライブの電源が入らない	４９
接続したドライブのアイコンが表示されない	
本製品を読み書きしていると他のUSB機器が認識しない	５０
本製品からOSを起動できない	
スタンバイから戻ると、本製品が認識されていない	
USBハブに本製品を接続しているとエラーが発生する	
本製品を接続した状態でパソコンを起動すると本製品のアイコンが２つ表示される	５１
本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる	

Windows XPでのトラブル

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	５２

Windows 2000でのトラブル

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	５２

Windows Me/98でのトラブル

・本製品を接続すると、パソコンが止まる ・本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる	５２
USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される	

Mac OS 9でのトラブル

接続したまま起動するとドライブのアイコンが変わる	５３
ディスクの初期化のダイアログでフォーマットに［MacOS標準］，［MacOS拡張］が選択できない	

共通のトラブル

本製品に接続したドライブの電源が入らない

原因１　電源連動機能のドライブを使用している

「iUシリーズ」および「iEシリーズ」をお使いの場合は、電源連動しますので、ドライブ（「iUシリーズ」および「iEシリーズ」）の電源を入れるだけでは電源は入りません。
電源が入っているパソコン（すでに起動済みのパソコン）に接続することによってドライブの電源が入ります。

接続したドライブのアイコンが表示されない

原因１　ドライブ側にACアダプタが接続されていない あるいは、ドライブ側の電源が入っていない

本製品に接続するドライブには必ずACアダプタを接続し、電源を入れてください。
※弊社製Duo ATA PCカード「CBIDE２A」で使用していたドライブを本製品で使用する場合、必ずACアダプタを接続して使用してください。

原因２　「更新」されていない(Windowsのみ)

［マイコンピュータ］の［表示］→［最新の情報に更新］をクリックしてください。

原因３　ドライブ側の設定が正しくない

接続しているドライブの取扱説明書をご覧ください。

原因４　接続するUSBポートによっては認識されない

接続するUSBポートを変えてください。特にUSBハブに接続している場合は、パソコンのUSBポートに変えてみてください。

原因５　正常に認識されていない

【確認しよう】(12, 20, 29, 38, 44ページ)をご覧になり、正常認識されているか確認してください。

原因６ **他のUSB機器にバスを占有されている（弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）**

この場合すぐには、認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、本製品をUSBポートに接続してください。

本製品を読み書きしていると他のUSB機器が認識しない

原因 **本製品がバスを占有している**

この場合すぐには、認識されません。本製品の占有が終わってから、USB機器をUSBポートに接続してください。

本製品からOSを起動できない

原因 **本製品からのOSの起動には対応していない**

本製品からOSを起動することはできません。

スタンバイから戻ると、本製品が認識されていない

原因 **環境によっては正常にスタンバイから復帰できない**

本製品を一度取り外し、また接続してください。

USBハブに本製品を接続しているとエラーが発生する

原因 **USBハブによっては本製品が正常に動作しない**

USBハブから本製品を取り外し、パソコンのUSBポートに接続してください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると本製品のアイコンが２つ表示される

原因 **パソコンがUSB機器からの起動に対応している**

USB機器から起動できないように、パソコンを設定してください。
詳しい方法については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか
パソコンメーカーにお問い合わせください。

本製品を接続した状態でパソコンを起動すると、起動の途中でパソコンが動かなくなる

原因 **FAT16、FAT32形式でフォーマットされている**

本製品を接続したままでは起動できません。
本製品を取り外してから、パソコンを起動してください。
パソコンが起動し終えたら、本製品を接続してください。

Windows XPでのトラブル

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

【本製品を取り外す】(16ページ)をご覧ください。

Windows 2000でのトラブル

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

【本製品を取り外す】(24ページ)をご覧ください。

Windows Me/98でのトラブル

・本製品を接続すると、パソコンが止まる
・本製品を接続してパソコンを起動するとSafeモードになる

原因 **本製品の接続や電源が正常ではない**

【接続する】(28ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

USBポートから取り外す際に「デバイスの取り外しの警告」が表示される

原因 **取り外しの正しい手順を行っていない**

【本製品を取り外す】(33ページ)をご覧ください。

Mac OS 9でのトラブル

接続したまま起動するとドライブのアイコンが変わる

原因 **USBマネージャのバージョンによっては、USB機器を接続したまま起動すると、OS標準のドライバが使われる**

弊社では、USBマネージャ 1.3.5，1.3.6で現象を確認しております。

このような場合、本製品を接続せずにパソコンを起動し、OSが完全に起動してから接続してください。

ディスクの初期化のダイアログでフォーマットに［MacOS標準］，［MacOS拡張］が選択できない

原因 **FAT16、FAT32形式でフォーマットされている**

以下の手順で［File Exchange］を無効に設定してからフォーマットしてみてください。

①［アップルメニュー］→［コントロールパネル］→［機能拡張マネージャ］をクリックします。

②［File Exchange］のチェックを外します。

③［再起動］ボタンをクリックし、Mac OSを再起動し、再度初期化してみてください。

※初期化後は[File Exchange]の設定は元に戻してください。

サポートソフトの削除

サポートソフトの削除方法について説明します。

Windows XP/2000, Mac OSをお使いの方へ
削除は必要ありません。これらのOSでは、サポートソフトを使っていません。

Windows Me/98での削除

1 本製品をUSBポートから取り外します。

【本製品を取り外す】(33ページ)を参照してください。

2 「USB 2.0 CC2 サポートソフト」を挿入します。

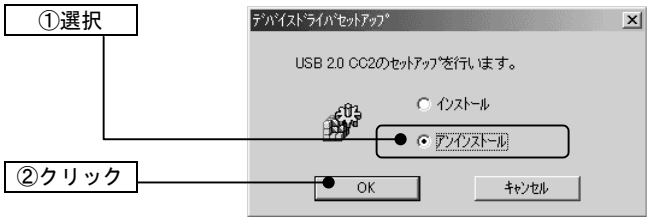
「USB 2.0 CC2 サポートソフト」をフロッピーディスクドライブに挿入します。

3 [DDSETUP]アイコンをダブルクリックします。

[マイコンピュータ]→フロッピーディスクドライブアイコン→[DDSETUP]の順にダブルクリックします。

4 [アンインストール]を選択します。

[アンインストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 [OK] ボタンをクリックします。

6 [OK] ボタンをクリックします。

7 「USB 2.0 CC2 サポートソフト」を取り出します。

8 [はい] ボタンをクリックします。

⇒パソコンが再起動されます。

これでサポートソフトの削除は完了です。

本手順後に他のUSB機器の認識が異常になる場合は

認識が異常になったUSB機器のインストールをもう一度行ってください。

これで本製品の削除は完了です。

Mac OS 9でのハードディスクの初期化

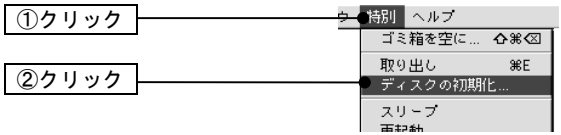
ここでは、Mac OS 9でのハードディスクの初期化方法について説明しています。
この手順は、Mac OS 9専用です。

ハードディスク内に必要なデータがある場合は･･･
初期化を行うと、ハードディスク内のデータはすべて消去されます。
別のハードディスク等にバックアップを行ってから、初期化してください。

1 本製品のアイコンをクリックします。

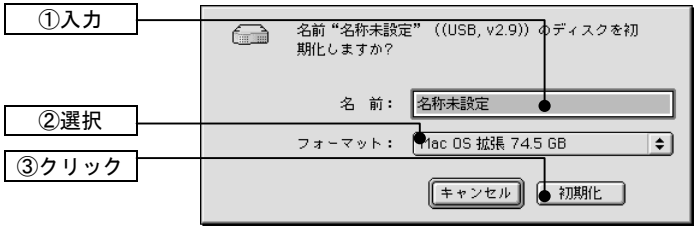
2 ［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。

Finderメニューの［特別］をクリックし、表示された［ディスク(装置)の初期化］をクリックします。



3 初期化します。

①［名前］に本製品に付ける名前を入力します。
②［フォーマット］を選択します。
③［初期化］ボタンをクリックします。
⇒本製品の初期化が始まります。



［フォーマット］の選択について
［Mac OS拡張］を選択することをおすすめします。

80Gバイト以上のハードディスクに接続した場合･･･
［MSDOS形式（FAT）］は選ばないでください。

用語解説

i･CONNECT［アイコネクト］

内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格。
i･CONNECT搭載ドライブは、i･CONNECT対応オプションと接続することにより「USB」接続、「IEEE1394(FireWire,i.LINK)」接続または「PCカード」接続ドライブとして使える。

USB(Universal Serial Bus)［ユーエスビー］

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。
「USB 1.1」と「USB 2.0」の2つのバージョンがある。
特長として、接続のしやすさ、増設のしやすさなどがあげられる。

最大転送速度（理論値）

フォーマット

ストレージ製品を使えるようにするために必要な作業。
他に、イニシャライズや初期化などと呼ぶこともある。

ハードウェア仕様

対応規格	i･CONNECT規格およびUSB 2.0準拠
転送方式	コントロール転送／バルク転送
転送速度	USB 2.0　480Mbps（理論値） USB 1.1　12Mbps（理論値）
動作温度	+5℃～35℃
動作湿度	20～80%　（結露なきこと）
外形寸法	44（W）× 56（L）× 14（H）mm （コネクタおよびケーブル含まず）
ケーブル長	約100cm
質量	約80g

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらもご参考ください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

手紙：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3688　東京…03-3254-1095
※受付時間　9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（前ページ【お問い合わせ】をご覧ください）

故障と判断された場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX にて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.（製品に貼付されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,

ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

USB2-iCN2 取扱説明書
2002.08.22　117123-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2002 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。